

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県石巻市 石巻市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
136,822	23,921	非該当	非該当	10：1

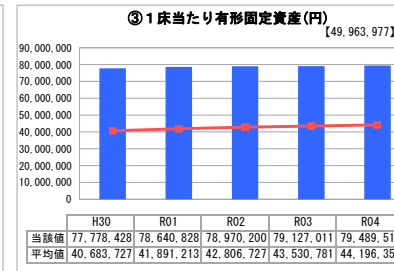
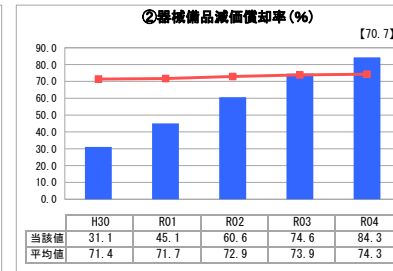
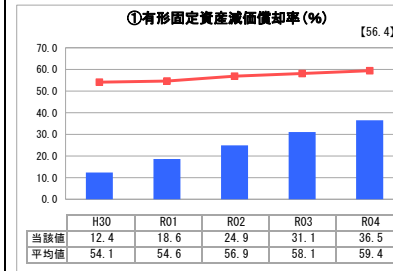
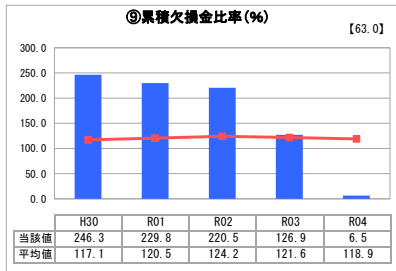
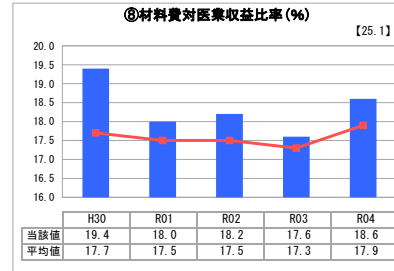
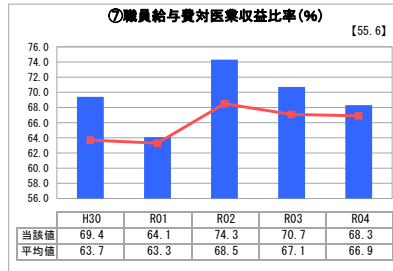
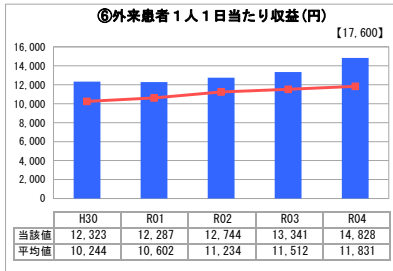
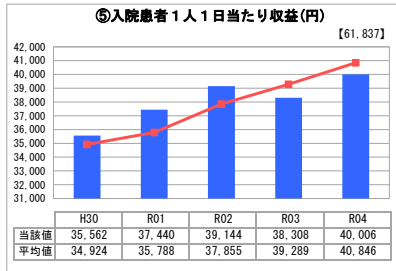
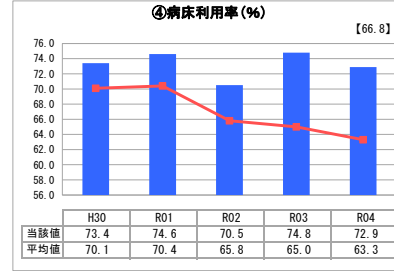
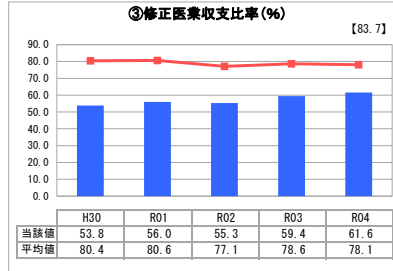
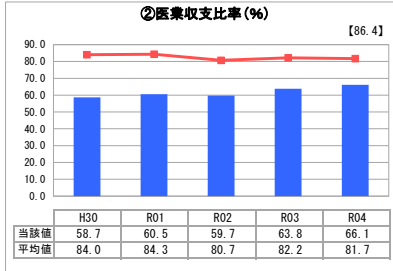
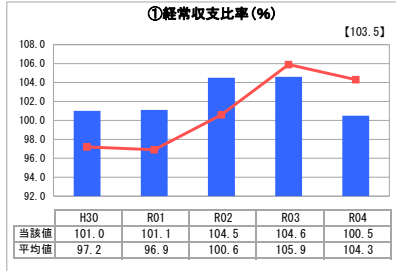
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
140	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	180
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
126	39	165

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
業務分限・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

I 地域において担っている役割

石巻赤十字病院をはじめとした二次、三次医療機関との連携を前提に、必要な急性期機能を有した上で、回復期、慢性期及び在宅医療等に取り組む、石巻圏域における「切れ目のない医療提供体制」の一端を担っており、今後は介護施設、在宅医療、療養病床からの急変患者（サブアキュート）の受入体制及び急性期後の患者受入（ポストアキュート）の強化等を図っていく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年9月の現病院開院以降、外来患者数は増加基調にあり、令和4年度は新型コロナウイルス流行以前より上回っている。しかしながら、職員給与費対医療収益比率や材料費対医療収益比率が類似病院平均値を上回る状況が続いている。経常収支比率は100%を上回る状況が続いているものの、修正医療収支比率は類似病院平均値を下回っており、医療費用に対し医療収益のパフォーマンスが不足しているためである。累積欠損金比率は東日本大震災により被災した旧病院の起債を一般会計に移管したため大幅に減となっているが、今後も解消に向けた経営改善が求められている。

2. 老朽化の状況について

現病院開院に当たって購入した医療器械備品については、償却期間が終了したものが多く増えており、劣化等による修繕や更新が必要になってきている。1床当たり有形固定資産が平均値を大きく上回っている要因としては、東日本大震災以降の復旧・復興事業が本格化する時期において、全国的な建設資材の不足による価格高騰や、技術者、作業員など人手不足に伴う労務費高騰により、病院建設事業費が増高したことが大きく影響していると思われる。

全体総括

医療収支比率が前年度に比べ2.3ポイント増となったものの、依然として低水準にあり、健全な経営には至っていないことから、効率的な収入の確保や費用の削減に努め、更なる経営改善を図っていく必要がある。

令和5年度末までに策定する「公立病院経営強化プラン」を基に計画的に経営改善を実施していくとともに、質の高い医療の提供に努め、経営の健全化及び安定化を図っていく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。